

2026 年度

GW 講習のご案内

(年中児対象 2021 年 4/2～2022 年 4/1 生まれ)



料金表

料金表						
年中						
プログラム		NO.	日時		料金（会員）	料金（オープン）
ペーパー 1時間	年中 推理・図形 集中ペーパー	A-1	4/28(火)	13:30 - 14:30	9,900円	11,000円
		A-2	5/8(金)	14:45 - 15:45		
	年中 数量 ドリルトレーニング	B-1	4/30(木)	13:30 - 14:30		
		B-2	5/2(土)	10:45 - 11:45		
絵画・ 巧緻性 1時間	年中 巧緻性6技能 テクニカル特訓	C-1	4/19(日)	14:00 - 15:00		
		C-2	4/28(火)	16:00 - 17:00		
	年中 受験絵画特訓	D-1	4/30(木)	16:00 - 17:00		
		D-2	5/2(土)	13:15 - 14:15		
体操 1時間	年中 指示行動	E-1	4/19(日)	15:15 - 16:15		
		E-2	5/2(土)	12:00 - 13:00		
行動観察 1時間	年中 行動観察 (共同作業・ゲーム)	F-1	4/28(火)	14:45 - 15:45		
		F-2	4/30(木)	14:45 - 15:45		

ダブル受講パック（年中）

A～E 2講座受講の場合

会員 17,600円

オープン 19,800円

トリプル受講パック（年中）

A～E 3講座受講の場合

会員 26,400円

オープン 29,300円

※本割引は、一度にまとめてお申し込みいただいた場合のみ適用されます。

※後から追加で受講をお申し込みいただいた場合、既存のお申し込みと合算して割引を適用することはできません。

※受講パックはいずれか1つのみ適用可能で、併用はできません。

例：(初回申し込み) ダブル受講パック → (追加申し込み) 1コマ

はじめに

「差がつくのは、まだ誰も本気になっていない今。」

小学校受験において、本当に差がつくのは年長ではありません。多くのご家庭が「そろそろ頑張ろう」と動き出す頃には、すでに大きな差が生まれています。多くの受験者が動き出す前の年中の今こそが、最も差が開く時期です。

小学校受験では、11月に学年が切り替わり「新年長」になります。そして、新年長になると模試や志望校対策が本格化し、多くのご家庭が一気に受験モードへと入っていきます。つまり、これから迎える新年長の夏前には、すでに“基礎力の差”がはっきりと現れるのです。そのときに慌てて伸ばそうとしても、短期間で大きく力を変えることは簡単ではありません。だからこそ KAKERU では、新年長を迎える前のこの時期に、力の土台を作ることを大切にしています。これは、短期間で身につくものではなく、早く取り組んだお子様ほど大きな土台の上に、大きく積み上げることができ、さらに伸びていくものです。

今が「新年長に向けて大きく差をつけることができる貴重なタイミング」です。この時期に一步踏み出すことで、新年長を迎えたとき、そしてその夏前には周囲よりも一步、二歩先に立つことができます。KAKERU ではこのゴールデンウィークに、将来の合格を見据えた講習を実施します。

ぜひ、お子様の進捗に合わせて講習を組み合わせるご受講ください。

テストに
強くなる

テスト形式で発問・見本を見た際に実力を出す方法を学びます。

フォロー
アップ

まだ出来ていない分野、または理解が不十分である分野のフォローをします。

レベル
アップ

習った分野について、スピードを上げる、丁寧に仕上げる、応用する等レベルアップをはかります。

心を
鍛える

精神面を鍛えます。上手くいかないことがあっても諦めずに取り組むことで自分が成長したことを実感し、粘り強さを身につけます。

クラス・内容

A1・A2 年中 推理・図形特訓 1時間

レベル
アップ

フォロー
アップ

～思考の土台を築くために、たくさんの経験を積む～

幼児の学力において、推理・図形分野は思考力の差が表れやすい重要分野です。しかし年中の段階では、いきなり頭の中だけで考えることは難しく、「なんとなく答える」状態になりがちです。“考え方の土台”を作っておくことが、その後の問題理解につながります。本講座では、具体物を使って実際に見て確かめる体験を大切にしながら、図形や位置関係の変化を理解していきます。「見て理解する」「動かして確かめる」経験を積み重ねることで、年長で扱う応用的な推理問題に対応するための思考の土台を築きます。

■ 本講座で扱う4つの課題

1. 観覧車（位置関係の推理）

観覧車が回ったときの人物や物の位置の変化を考える問題です。

具体物を使って動きを確かめながら、位置関係がどのように変わるのかを理解する力を育てます。

2. 立方体の展開図（空間図形）

展開図を組み立てたときに、どの面がどこにくるのかを考える問題です。

実際に展開図を組み立てて確認することで、立体構造を捉える空間認識力を養います。

3. 四方観察（見え方の理解）

前後左右から見たときの見え方考える問題です。

実際の見え方を確かめながら、異なる視点から形を捉える観察力を育てます。

4. 重ね図形（図形の推理）

複数の図形を重ねたときの形の変化を考える問題です。

図形を重ねながら、図形同士の重なり方や関係を整理して考える力を育てます。

一度きりの理解で終わらせず、「考え方」を重視し、次の学びにつながる思考の土台を築きます。

持ち物：鉛筆・クーピーまたはポンキー

※家庭学習セットをお渡しいたします。（観覧車の具体物教材・立方体展開図教材・重ね図形教材・授業で使用したペーパー）

B1・B2 年中 数量ドリルトレーニング 1時間レベル
アップフォロー
アップ

～数量単元の「型」を極める～

ペーパー入試において、大きな配点を占める重要分野が「数量」です。年中児のこの時期に大切なのは、なんとなく正解して満足することではありません。「どのようなプロセスで解いたか」という解法の「型」が確立できていることです。本講座では、数量の基礎6領域に絞り、お子様が迷わず、速く、正確に解けるようにするための解き「型」をドリル形式で身につけます。

■ 本講座で習得する「6つの型」

数量の基本を、お子様が直感的に理解できる独自のメソッドで指導します。

1. 計数（正確に数える型）

地道に数えるのではなく、数をまとまりにして量感とともに数えていく型を学びます。

2. 合算（合わせる型）

数を一つの大きな塊として捉え、まとまりごとに合わせる視覚的アプローチを学びます。

3. 求差（ちがいをを見つける型）

数のまとまりの大きさを即座に判断し、ちがいの見つけ方と処理の仕方を学びます。

4. 補数（あといくつ型）

「指定された数にするにはあといくつ必要か」という問いに対し、速く正確に解くトレーニングを行います。

5. 分配（分けっこ型）

何人に分けたら何個ずつになるか、という割り算の概念を年中児でも理解できる解き「型」をお伝えします。

6. 一対多対応（セットの型）

「リンゴ1個でミカン2個と同じ重さ」といった、複数が対応してくる場合の掛け算の基礎となる型を構築します。

持ち物：鉛筆・クーピーまたはボンキー

※家庭学習セットをお渡しいたします。（授業で使用したペーパー）

C1・C2

年中 巧緻性6技能テクニカル特訓 1時間

レベル
アップ心を
鍛える

～塗る・折る・貼る・切る・千切る・結ぶの徹底練習

「できているつもり」を「できる」へ～

小学校受験の考査において、指先の動きは「指示理解力」「集中力」「丁寧さ」、そして「生活習慣」を測る重要な指標です。「なんとなく折れる」「だいたい切れる」という段階から、試験官の目に留まる「洗練された手つき」へと引き上げる、年中児のためのGW特別集中講座を開講します。年長になると、願書作成や高度な思考力問題、行動観察対策に多くの時間が割かれます。手先の技術は一朝一夕で身につくものではありません。今のうちに無意識でも正しく手が動くレベルまで反復練習を行い、年長進級時の自信に繋がります。

■ 本講座で鍛える「6つの必須技能」

本講座では、入試頻出の6技能に特化し、合格レベルの基準を徹底的に指導します。

1. 塗る

はみ出さないのは当たり前。筆圧のコントロールと、塗りムラのない「密度の高い」塗り方を指導いたします。

2. 折る

角と角をぴたりと合わせる。折り目をしっかり、正しく入れるコツを指導します。

3. 貼る

糊の量を適切に見極め、ベタつきを残さず、指定の場所にまっすぐ貼る力を養います。

4. 切る

曲線も角もスムーズに切れるよう、両手の協応を意識させます。

5. 千切る

線に沿って、細かくリズムカルに。指先の力を制御する繊細な作業を鍛えます。

6. 結ぶ

固結び・バランスの良いリボン結びを素早く行うコツを伝えます。結びは試験で差がつく最難関ポイントです。

持ち物：クレヨン、ハサミ、スティックのり

D1・D2 年中 受験絵画特訓 1時間レベル
アップ心を
鍛える

～描ける喜びから、伝わる楽しさへ～

「描けるパターンが増える」→「伝わる喜びを知る」→「さらに上達する」

この良いサイクルに乗ることで、お子様の力を伸ばします。苦手意識を持つ前に、「描ける！」という成功体験を積むことが大切です。近年の絵画テストでは、「もし自分だったらどうするか」がテーマとして出題されることが増えています。このとき、動きのある絵を描けるようになることで、相手に伝えたいことが伝わりやすくなります。KAKERU 幼児教室ならではのオリジナルメソッドで、応用のきく動物の描き方を指導します。1種類の動物の基本的な描き方を指導します。さらにその応用で4種類の描き方が身につきます。また、動きのある人物の描き方など、受験絵画における基本の型をマスターします。型を身につけることで、走る・投げるなどの動きも早い時期から描けるようになります。基礎づくりは年長になってから始めるよりも、年中の今だからこそ大きく伸びます。早い時期に土台を身につけることで、自信のつき方が大きく変わります。「できた！」というお子様の笑顔に出会ってみませんか。

■ 受験絵画における3つのポイント

1. 観察力

動きをよく観察し、関節を意識して捉えます。

2. 表現力

人物や動物の動きを、線や形の組み合わせで表現します。

3. スピード

素早く描く力を身につけます。

一度きりで終わらせず、基本の型を意識した反復練習を重ねることで、年中児でも自信を持って絵を描けるようになります。

持ち物：クレヨン

E1・E2 年中 指示行動 1時間レベル
アップ心を
鍛える

～「聞くスイッチ」の先にある、行動での差をつける～

受験では、指示を正しく聞き取ることは大前提となります。GWの時期になると、指示を「聞ける子」から、聞いたうえで判断し、行動をする子へと明確な分岐が生まれます。的確でない指示を繰り返し受けると、どう行動すればよいか迷い、指示に対して苦手意識を持ったり、指示＝理解不能なものとして解釈してしまったりして、逆効果になることもあります。そこで、子どもが自分で行動を選びやすくなるよう、正しい指示を繰り返し行い、聞いた内容をもとに自分をコントロールして行動できる力を育てます。本講座では、的確な指示を聞いたあとに「自分はどう動くべきか」を瞬時に考え、行動をする力を育てます。ただ指示を聞くだけという段階から一歩進み、指示の意図を正しく理解して自分で判断し行動できるよう、練習を繰り返します。

持ち物：体操着

F1・F2 年中 行動観察(共同作業・ゲーム) 1時間テストに
強くなる心を
鍛える

～よく話す子より、気配りできる子へ～

行動観察は最も多くの学校で実施されている考査です。近年では、「自分の意見を言う」だけでなく、他者への気配りや協力する行動も重要視されています。作業や、作戦会議の中で困っている子に気が付いて声をかけてあげる、道具を貸す、ルールを教えるなど、さまざまな場面で問題を見つけ、チームに働きかけられるかがポイントです。そのため、お子様がただ気がつくのを待つのではなく、能動的に気づく力を引き出す指導が必要です。また、良い成長には良い振り返りが不可欠です。

起きたことをそのまま伝えるのではなく、どのように行動すればより良い結果になるのかを教えることです。作戦を実行し、どんな行動が結果につながるのか、そのつながりを理解します。お子様一人ひとりの意識と行動に変化をもたらすカリキュラムです。

お申込方法

【お申込フォーム】

<https://forms.gle/RqyYVQjNYubfyiTa9>



【会員優先申込期間】 3月17日 火曜日 10:00 ~ 3月20日 金曜日

【オープン申込期間】 3月24日 火曜日 10:00 ~

お申し込み多数の場合は、席をご用意できない場合がございます。ご了承ください。

※KAKERU 幼児教室の返信後、入金をもって、お申し込み完了となります。

※期限内にご入金が確認できない場合は、キャンセルとさせていただきます。

※複数回ご送信いただいた場合は、最新の入力情報にて受付いたします。

【お問い合わせ先】

お申し込み後、2営業日以上経っても連絡がない場合や、ご不明な点がある場合は、

kakeruyoujikyousitu@gmail.com までお問い合わせください。

【キャンセル・変更】

上記メールアドレスまで、ご相談ください。

【営業時間】

平日（火～金）10:00～17:00／土日 8:00～15:00

【持ち物】

■ 全講座で共通の持ち物

- ・室内履き
- ・水筒

■ 講座ごとに必要な持ち物

パンフレットに持ち物が記載されている講習は、各自ご持参ください。